

FLIPPER3 Maker ~ FLIPPER Report ~

操作マニュアル

文書番号:09 製-FL010052-04

第 4 版:2011 年 5 月 25 日

目次

1. はじめに	3
1.1 FLIPPER Report とは.....	3
1.2 FLIPPER Report のご使用にあたって	3
2. 動作環境	4
3. FLIPPER REPORT 使用する前に	5
3.1 ログ送信の仕組み.....	5
3.2 FLIPPER Report を使用する為の設定を行う.....	5
3.3 拡大・移動アクションのログ送信タイミングを変更する.....	6
4. FLIPPER REPORT 利用方法	7
4.1 FLIPPER Report の実行	7
4.2 FLIPPER Report ウィンドウの説明.....	8
4.3 ログ解析期間の変更	8
4.4 ヒートマップの基準色の変更	9
お問い合わせについて	10
お問い合わせ窓口	10
更新履歴	11

1. はじめに

1.1 FLIPPER Report とは

Google 社が無料で提供するアクセス解析サービスを利用して、FLIPPER3 の閲覧ログを取得・解析することができます。これにより、ページ毎の閲覧者数、閲覧時間などの情報を取得し、マーケティング活動などに役立てることができます。FLIPPER Report は、各ページ内のどの部分が最も良く閲覧されているかを視覚的に捉えられるように、ヒートマップ型の表示方式でログ解析を行えます。

各ページ内において、拡大して閲覧された回数が多い部分ほど赤く表示され、閲覧回数が少なくなる程に、色が寒色になります。

広告チラシ、通販カタログ、商品パンフレットなどにおいて、どの商品に閲覧者の関心が集まっているかを視覚的に捉えやすくなります。

1.2 FLIPPER Report のご使用にあたって

注意事項等を下記に記載します。

- ・ FLIPPER Report に対応したログを送信できるのは「FLIPPER3 Maker3.4.0」以降で作成したブックデータです。
- ・ FLIPPER Report を使用するには Google のアカウントが必要です。
- ・ トラッキングコードの「プロファイル番号」は 1 冊に対して、1 つの設定となります。同一プロファイル番号を複数冊で共有するとログデータが集計されてしまいます。

2. 動作環境

Windows

- ・ インテル® Pentium®III 1GHz クラス以上のプロセッサ、および 512MB 以上の RAM を搭載した
パーソナルコンピュータ
- ・ WindowsXP(32bit)、Windows Vista(32bit) 、Windows 7(32bit) 日本語版

Mac OS X

- ・ インテル Core™Duo 1.83GHz クラス以上のプロセッサ、または PowerPC® G4 1GHz クラス以上のプロセッサ
- ・ Mac OS X 10.4.11、または Mac OS X 10.5.4、10.5.5、10.6
- ・ 1GB 以上の RAM

共通

- ・ 1024 × 768、16 ビット以上を表示可能なカラーモニタ
- ・ Adobe AIR 1.5 以上のランタイム環境 (FLIPPER Report インストール時にインストールされます)
- ・ インターネット接続環境

Google Analytics からデータの取得を行います。

ソフトウェア起動時にアップデート情報の確認を行います。

最新プログラムがリリースされている場合は、弊社サーバーよりダウンロードを実行します。

3. FLIPPER Report 使用する前に

3.1 ログ送信の仕組み

FLIPPER Report が使用するログは、FLIPPER 閲覧時に下記の操作を行ったときに送信されます。

- A. ページめくり
- B. 拡大操作 (縮小操作時にはログは送信されません)
- C. 拡大表示時の移動操作

このうち、A については、アクション後にログが即時送信しますが、B および C については 3 秒間待ってから送信します。3 秒以内に表示箇所が他の箇所へ移動した場合 (A,B,C が行われた場合) はログが送信されません。これは、3 秒間その場にとどまったら閲覧者がその箇所を読んだと判断する為です。この秒数はログを送信するブックの設定 (「3.3 拡大・移動アクションのログ送信タイミングを変更する」) で変更できます。

3.2 FLIPPER Report を使用する為の設定を行う

<非同期タグの場合 推奨>

1. ブックデータフォルダの index.html をテキストエディタで開きます
2. </head>タグの直前に GoogleAnalytics から取得したトラッキングコードを貼り付けます
トラッキングコード例

```
<script type="text/javascript">
  var _gaq = _gaq || [];
  _gaq.push(['_setAccount', 'UA-xxxxxxx-xx']);
  _gaq.push(['_trackPageview']);
  (function() {
    var ga = document.createElement('script'); ga.type = 'text/javascript'; ga.async = true;
    ga.src = ('https:' == document.location.protocol ? 'https://ssl' : 'http://www') + '.google-analytics.com/ga.js';
    var s = document.getElementsByTagName('script')[0]; s.parentNode.insertBefore(ga, s);
  })();
</script>

</head>
```

3. index.html の</body>前に記述されている script 内の

so.addVariable("pageTracker","false");	の false を true に書き換え、
so.addVariable("pageTracker","true");	とします

4. </body>の直前に下記の Javascript コードを追記します。

```
<script type="text/javascript">
  function sendFlipperHeatmapLog(c,a,l){
    _gaq.push(['_trackEvent', c,a,l]);
  }
</script>
```

<ga.js の場合 google からは ga.js の案内がされなくなったため、今後サービスが停止する可能性あり>

1. ブックデータフォルダの index.html をテキストエディタで開きます
2. </body>タグの直前に、GoogleAnalytics から取得したトラッキングコードを貼り付けます

```
<script type="text/javascript">
var gaJsHost = (("https:" == document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");
document.write(unescape("%3Cscript src=" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E"));
</script>
<script type="text/javascript">
try {
var pageTracker = _gat._getTracker("UA-xxxxxx-xx");
pageTracker._trackPageview();
} catch(err) {}</script>
```

3. index.html の</body>前に記述されている script 内の

so.addVariable("pageTracker","false"); の false を true に書き換え、
so.addVariable("pageTracker","true"); とします

3.3 拡大・移動アクションのログ送信タイミングを変更する

拡大や移動した後、例えば「10 秒以上表示されたらログを取る」といった詳細な設定をするためには、以下の追記をおこなってください。

3.2.3 で書き換えた so.addVariable("pageTracker","true"); の下に、so.addVariable("heatmapTimer","10"); を追記します。

記述例

```
<script type="text/javascript">↵
// <![CDATA[↵
  var so = new SWFObject('skin03b.swf', 'skin03b', '100%', '100%', '9.0.20', '#ffffff');↵
  so.useExpressInstall('swfobject/expressinstall.swf');                      ↵
  so.addVariable("bookPath", "");↵
  so.addVariable("page", "1");↵
  so.addVariable("pageTracker", "true");↵
  so.addVariable("heatmapTimer", "10");↵
  so.addVariable("highlightwords", getDecodeHighlightwords(document.location.search));↵
  so.addParam('allowfullscreen', 'true');↵
  so.write('content');↵
// ]]>↵
</script>↵
```

"10" を任意の値に変更していただくことで、設定する秒数を変えられます。

4. FLIPPER Report 利用方法

4.1 FLIPPER Report の実行

デスクトップの  より、FLIPPER Report を起動してください。

ログイン



Google アカウント(ID/パスワード)を入力して [ログイン] を押下してください。

パスワードを保存するにチェックをすると、パスワードが保存され、次回以降入力が不要になります。

解析する FLIPPER を開く



“FLIPPER URL” に解析するブック(実際にログを送信している)の URL を入力し、[FLIPPER を開く]を押下してください。

その後、FLIPPER が表示されたら、アクセスログ結果を確認できます。

一度開いたブックは履歴に登録され、次回起動以降も利用可能です。

4.2 FLIPPER Report ウィンドウの説明



ヒートマップで拡大箇所が確認できます

解析期間を設定できます

ページ毎の閲覧回数 / 拡大表示回数を確認できます

FLIPPER 設定画面に戻ります

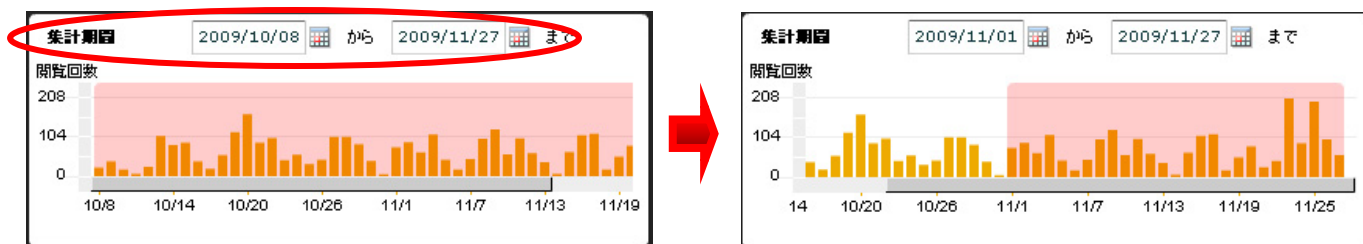
ログイン画面に戻ります

操作マニュアルを表示します

4.3 ログ解析期間の変更

最初に掲載期間分の全データを取得します。

期間を変更して閲覧状況を確認するには、集計期間の変更を行ってください。



4.4 ヒートマップの基準色の変更

各ページで表示されるヒートマップの色の基準は、既定値では「ページ毎」の最大閲覧部分の回数を最大値の赤として表示しています。[ヒートマップの基準]を[ブック全体]に切り替えると、ブック全体での最大閲覧部分の回数を最大値として、その相対色を表示します。

見たいページの棒グラフ上をクリックすると、そのページに移動します。



お問い合わせについて

お問い合わせ窓口

ご購入後の製品に関してご不明な点がございましたら、販売代理店もしくは以下までお問い合わせください。

FLIPPER Report : <http://soft.logosware.com/flipper-report/>

E-mail : support@logosware.com

TEL : 03-5818-8011 FAX : 03-5818-8012

営業時間 : 10:00 ~ 17:00 (土日、祝祭日は除く)

ロゴスウェア株式会社 <http://www.logosware.com>

【東京オフィス】〒110-0016 東京都台東区台東 4-13-21 TOWA SKY BLDG3F

更新履歴

初 版 : 2009 年 12 月 1 日

第 2 版: 2010 年 6 月 11 日

非同期タグ設定方法追記

第 3 版: 2011 年 4 月 27 日

不足説明追記、動作環境 Win7 追加

第 4 版: 2011 年 5 月 25 日

設定方法の説明を見直し